

Japan  
Food  
Research  
Laboratories

## 試験報告書

第 201081214-001 号

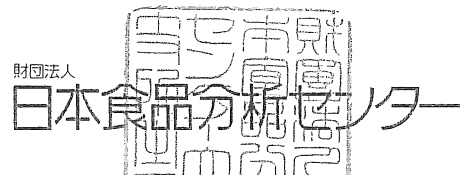
依頼者 株式会社スリーケーコーポレーション

検体 ミラクルランP

試験項目 脱臭効果試験

平成 13 年 08 月 17 日 当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 13 年 09 月 05 日



東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号

## 脱臭効果試験

### 1 依頼者

株式会社スリーケーコーポレーション

### 2 検 体

ミラクルランP

### 3 試験目的

硫化水素及びトリメチルアミンを用いて検体の脱臭効果を試験する。

### 4 試験概要

前処理をした検体及び対照として前処理をしていない検体をイオン交換水を入れたビーカーと共にテドラーバッグに入れ密封し、空気を注入した後、硫化水素を添加し、経時的に硫化水素濃度を測定した。また、検体を入れないテドラーバッグについて空試験を行った。なお、トリメチルアミンについても同様に試験した。

### 5 試験結果

結果を表-1及び2並びに図-1及び2に示した。

表-1 テドラーバッグ内の硫化水素濃度

	硫化水素濃度 ( $\mu\text{l/l}$ )				
	10分後	30分後	60分後	120分後	180分後
空試験	80	81	81	82	76
対照	80	72	68	63	54
検体	73	61	52	33	25

表-2 テドラーバッグ内のトリメチルアミン濃度

	トリメチルアミン濃度 ( $\mu\text{l/l}$ )				
	10分後	30分後	60分後	120分後	180分後
空試験	73	76	74	70	69
対照	50	29	14	2	<1
検体	55	28	8	<1	<1

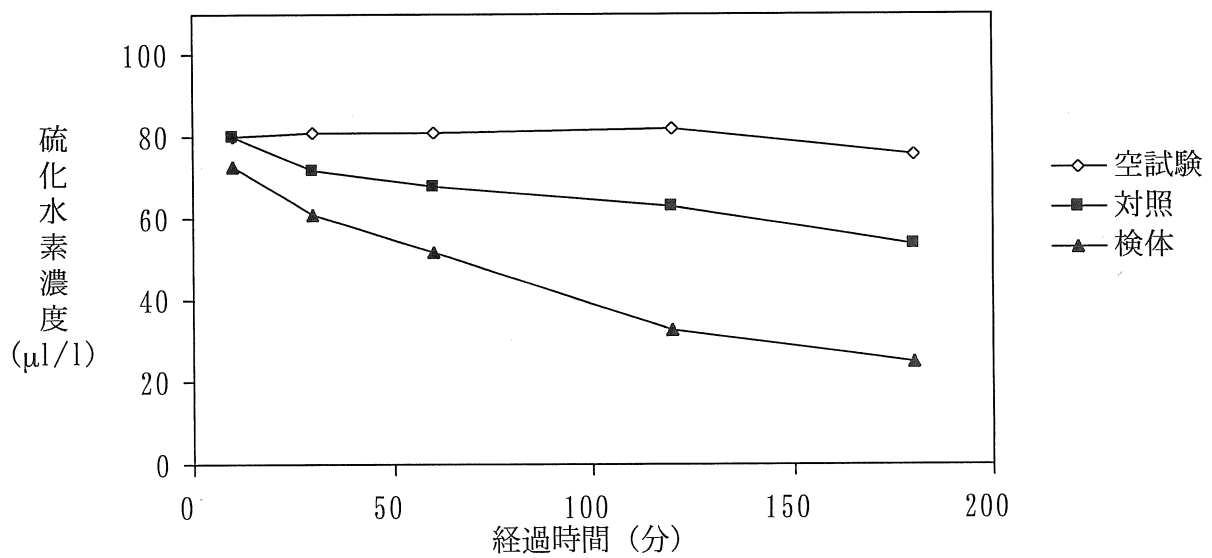


図-1 硫化水素濃度

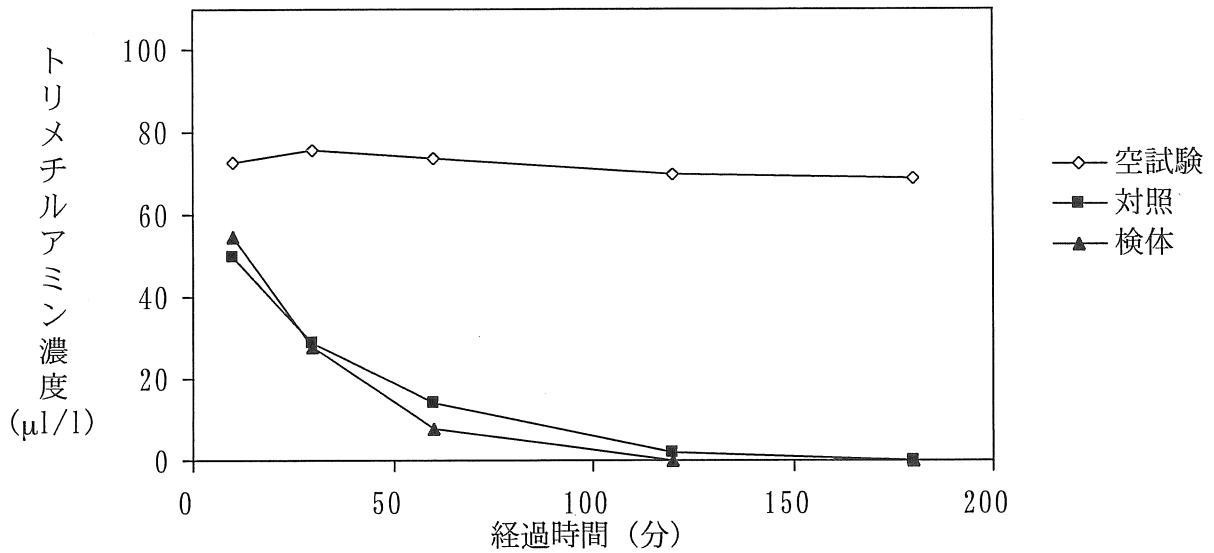


図-2 トリメチルアミン濃度

## 6 試験方法

空気中の水分の吸収効果を上げるため、検体5 gを2日間冷蔵庫で保存し前処理とした。前処理した検体及び対照として前処理をしない検体を、それぞれイオン交換水20 mlを入れたビーカーと共にテドラーバッグに入れ密封し、空気を3 L注入した。次に、硫化水素をテドラーバッグ内に添加し、室温放置10、30、60、120及び180分後に、テドラーバッグ内の硫化水素濃度を検知管を用いて測定した。また、検体及びイオン交換水20 mlを入れたビーカーを入れずに、テドラーバッグに硫化水素を添加し、同様に経時的に硫化水素濃度を測定し、空試験とした。

なお、トリメチルアミンについても、同様に試験した。

以 上